

左右開口組替可能

この製品は、外観右側が開口部（右開口）になるよう部品付がしてあります。
左開口にする場合は、部品のつけかえが必要です。（右記参照）

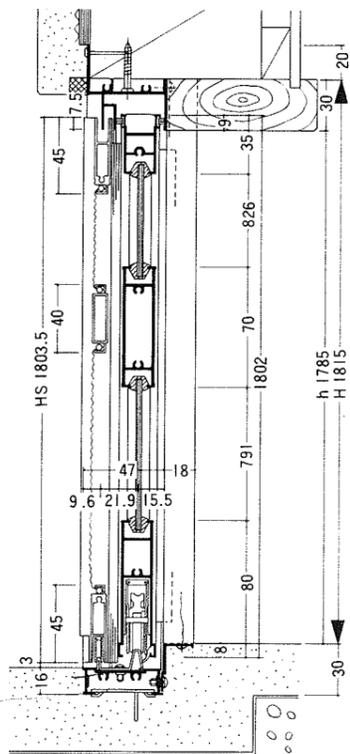
規格表

ガラス寸法表

呼称 H	呼称 W	関東 4.5尺	関東 6尺	関西 6.3尺	ガラス厚 単位:mm
		1242	1696	1897	
6.0尺 1815(外動) 1829(内動)					標準ガラス厚—3~4mm ガラス呑込寸法—6mm 上段—シルバー規格記号 下段—カラー規格記号
		GDBH1218 CGDBH1218	GDBH1718 CGDBH1718	GDBH1918 CGDBH1918	
	ガラス寸法	543	770	870	

基本図

- 外動納り
- 袖壁の外部に引き込む方式（右図参照）

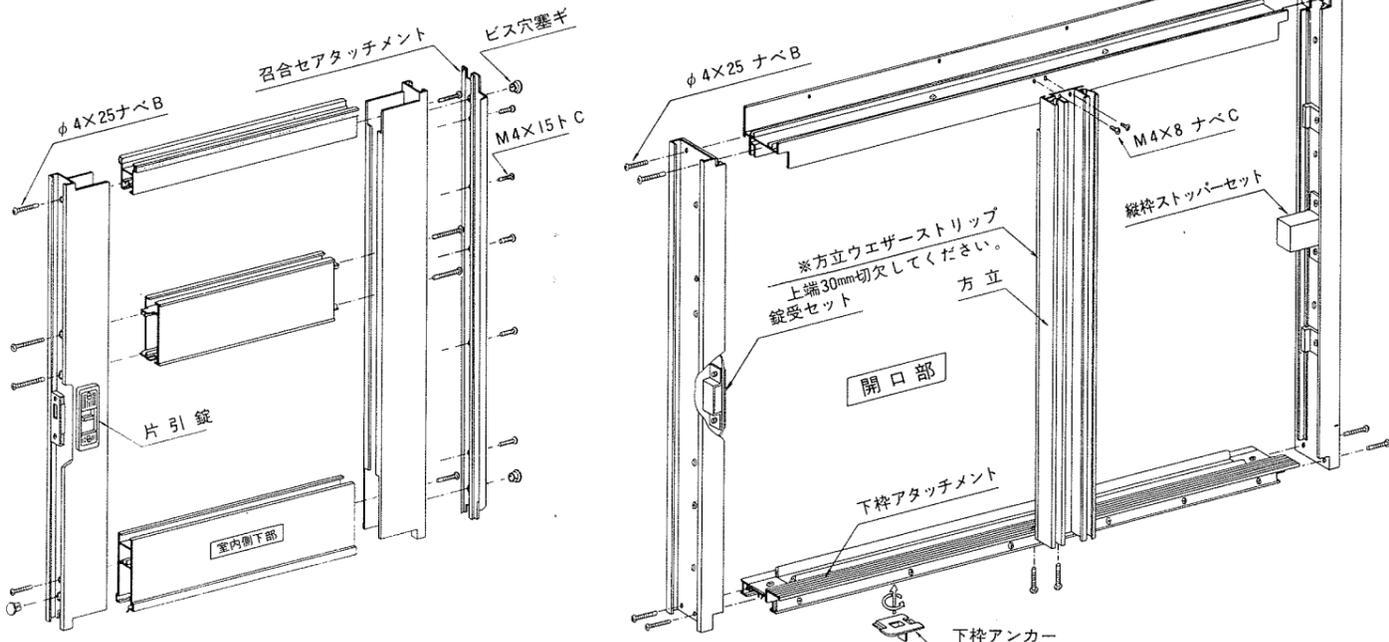


縦断面図

○網戸—別売品

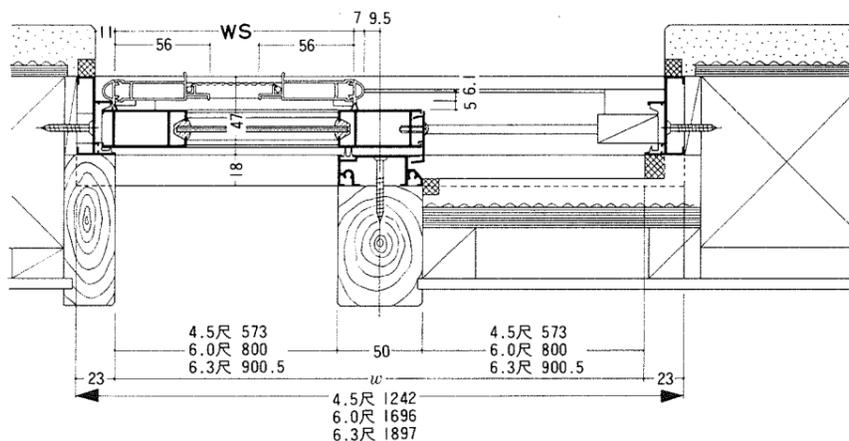
組立図

- 外動納りの場合、方立ブロックは不要です。（内動納りの場合に使用）



- 建付調整 — 戸車調整によって行ってください。
- 錠の高さ調整 — 施錠が不都合な場合、錠受セットのビスを緩め、上下に調整し固定してください。

横断面図



※左開口にする場合、下記の通り部品のつけかえ及び部材の組合せにご注意ください。

〔A〕錠受セットと縦枠ストッパーセットをつけかえてください。

外し方

1. 下のビスを緩めてください。
抜け防止の加工がしてありますが、強く回しすぎると外れることがあります。
2. 上のビスを外してください。
3. 上げて引き出してください。

付け方

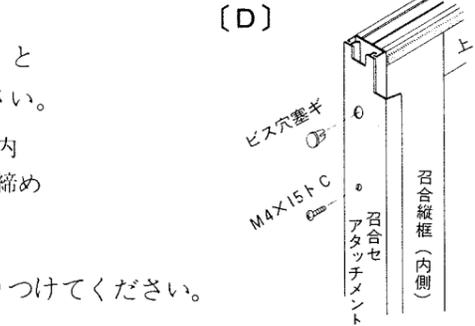
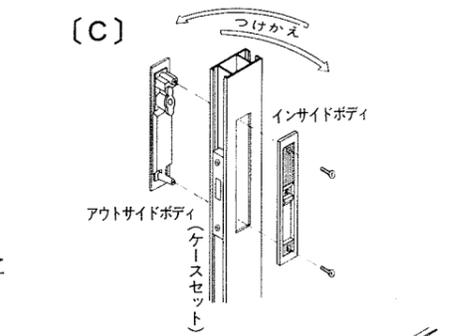
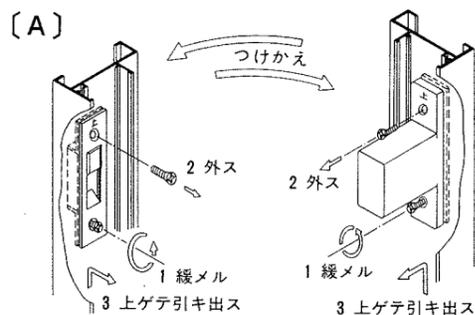
外し方の逆順序で取り付けてください。

〔B〕方立の煙返しが開口部の反対側（右側）になるよう、枠組立してください。

〔C〕開錠状態に於て、錠のインサイドボディとアウトサイドボディをつけかえてください。
インサイドボディの「開」の刻印がボディ角内に確実に入るよう、上下調整して、ビスを締めてください。

〔D〕召合せアタッチメントを右図のように取りつけてください。

袖壁仕上—召合せアタッチメントにあたらぬよう均一に仕上げてください。



関連別売品

●専用網戸

呼称 HS	WS	関東 4.5尺	関東 6尺	関西 6.3尺
		582.5	809.5	910
1803.5				
	ガラス寸法	GDS1218 CGDS1218	GDS1718 CGDS1718	GDS1918 CGDS1918

上段—シルバー規格記号
下段—カラー規格記号

●鉄筋用アンカー（15個入）
GDANC 1

●標準以外のガラス厚の場合はV型サッシ用純正グレチャンを御使用ください。

内動納り!

- ・・・下枠アタッチメントは取り外してください。
 - 方立ブロックを方立の下端に取りつけてください。
 - 錠のインサイドボディとアウトサイドボディをとりかえてください。
(右開口の場合はとりかえ不用)
- 下図内動納り
外観左側開口部(左開口)

左右開口組替可能

右開口の場合部品のつけかえが必要です。(右記参照)

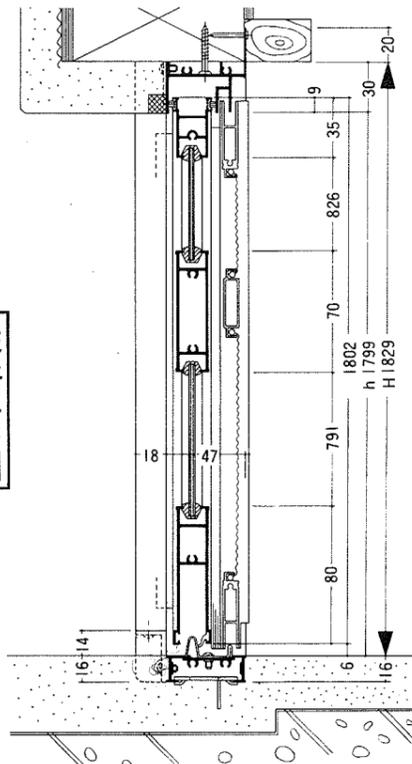
規格表・ガラス寸法表

裏面参照ください。

基本図

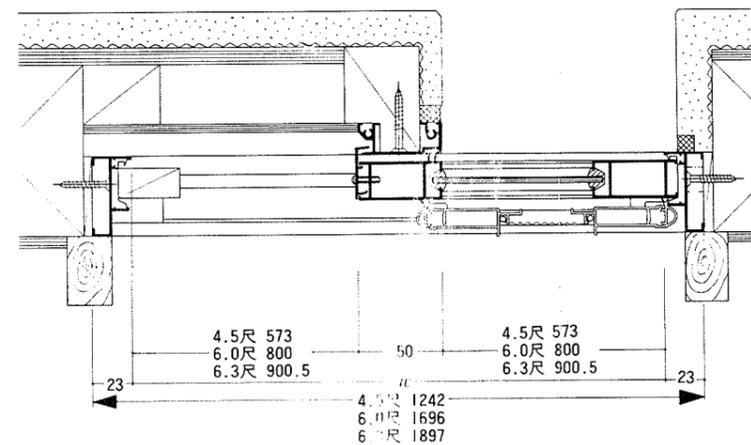
- 内動納り
袖壁の内部に引込む方式(右図参照)

縦断面図



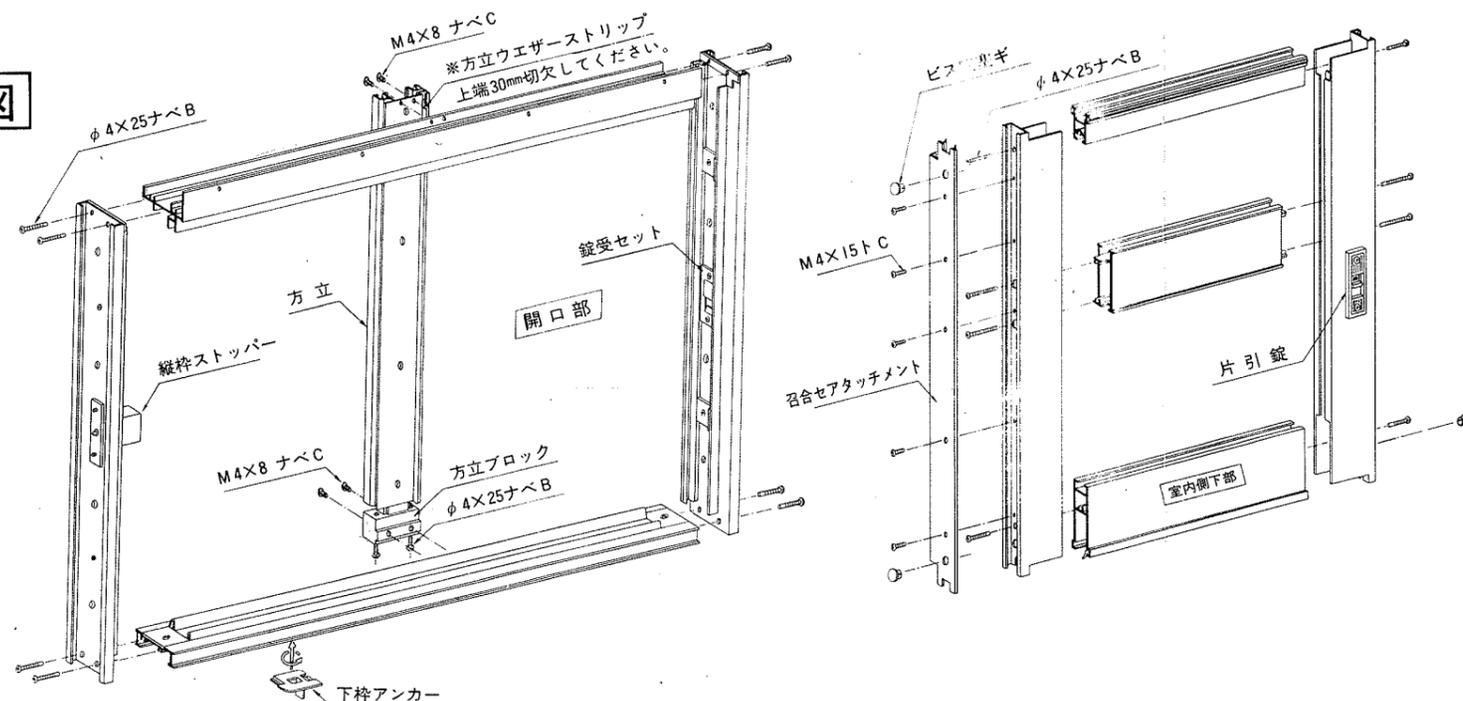
- 建付調整 — 戸車調整によって行ってください。
- 錠の高さ調整 — 施錠が不都合な場合、錠受セットのビスを緩め、上下に調整し固定してください。

横断面図



- 網戸 — 別売品

組立図

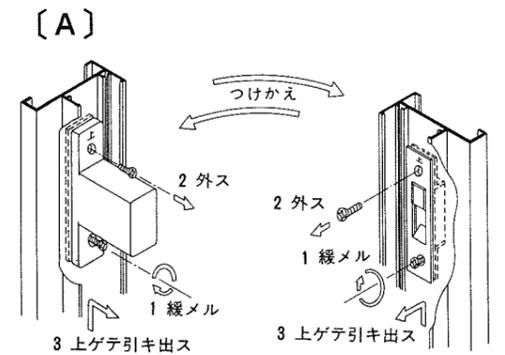


※ 右開口にする場合、下記の通り部品のつけかえ及び部材の組合せにご注意ください。

〔A〕 錠受セットと縦枠ストッパーセットをつけかえてください。

外し方

1. 下のビスを緩めてください。
抜け防止の加工がしてありますが、強く回しすぎると外れることがあります。
2. 上のビスを外してください。
3. 上げて引き出してください。



付け方

外し方の逆順序で取り付けてください。

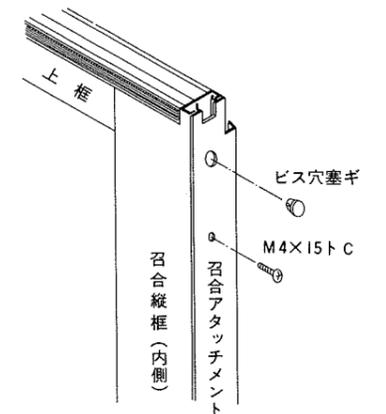
〔B〕 方立の煙返しが開口部の反対側(左側)になるよう枠組立して下さい。

方立ブロックは下端につけてください。

〔C〕 錠本体はつけかえ不用です。

〔D〕 召合せアタッチメントを右図のように取り付けてください。

〔D〕



袖壁仕上 — 召合せアタッチメントにあたらぬよう均一に仕上げて下さい。

関連別売品

裏面参照ください。